

ふらっとの今月号の記事は、平成28年度の相談支援・創作的活動・生産活動の振り返りとして利用される方々からの意見や感想等を中心として記載していきます。

《相談支援》

○日常の悩み事を聞いてもらえて、とても助かっている。話すことで自分の振り返りにもなる。時には『何でこんなことで悩んでいたんだろう』と気付けるのも相談できる場があるからだと思う。(Aさん)



○自分の話を真剣に聞いてくれる場所だと思う。日常の中で、生活の事や病気の事を聞いてくれる人や場所はあまりない。友人に話したりもするけど、スタッフと話すことで自分自身が成長している感じがある。自分にはやりたい事があるので、悩んだときはまた相談したい。(Bさん)

○ふらっとにはあまり来れないけど、相談や日常の愚痴も聞いてもらえて助かっている。今後も生活の事で相談をしたい(Cさん)

《創作的活動》

○食事会で皆で作る食事は美味しい。たまに好きではないメニューもあるけど…。小さいころから料理を作ることがあったので、今それが役立っている。(Dさん)



○安くて量も食べられるからありがたい。1食分安く食べられて嬉しい。(Eさん)

○イオンに行けると嬉しい。イオンまで行くのは遠いしお金も掛かる。必要な物も自分で買って節約にもなるし、気晴らしにもなる(Fさん)

○ほっとサロンはいい場所だと思う。いつも絵を描いたり色を塗っているんだけど真剣になれる。道具を持っていなくても、その場で貸してもらえらるからいい。他の人と話せるのもいいと思う。(Gさん)

《生産活動》

○今年は雨が多くて作業回数が少なかったのが残念だった。晴れる日が多いと、やりがいもあるし報酬も増えるので来年の天気に期待したい。(Hさん)

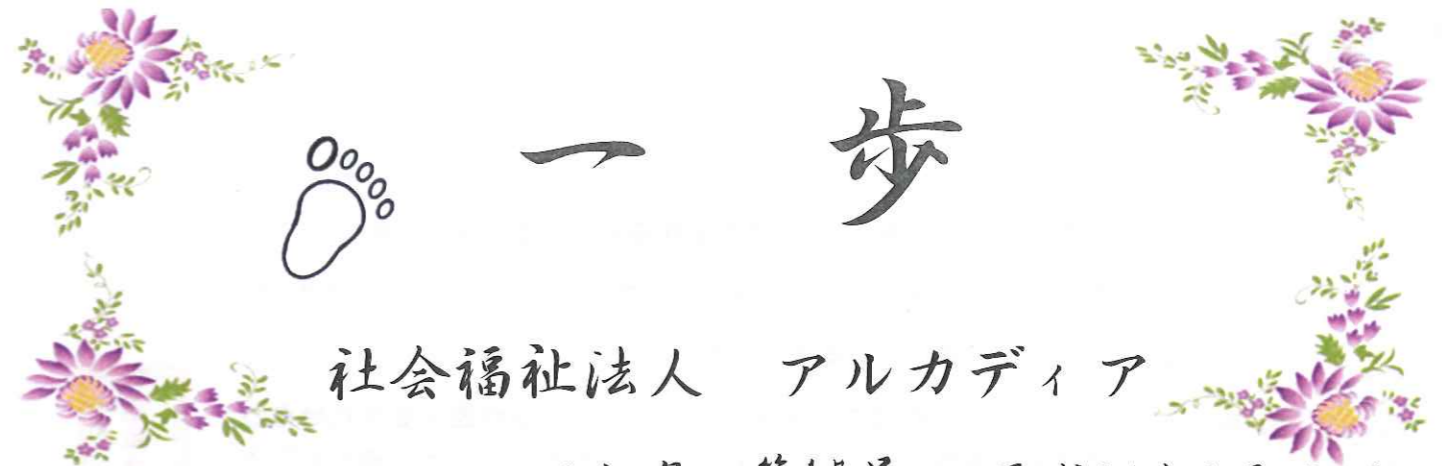


○前に参加していたことがあったけど、久しぶりにまた参加します。除草作業の報酬を、お小遣いとして自分で使えるのも嬉しい。(Iさん)

○除草作業はいい運動になる。運動不足解消にもなるし、景色もいいし、報酬もあるので頑張れる。(Jさん)

利用される方々から意見を聞いていく中で印象的だったのが、『相談を言える場・聞いてくれる場』という話が多かったことです。地域生活を送る障がい者の方にとって、悩みや困りごとを話せる場所が少ないことや、どこに相談していいかわからないといった現状があるのかもしれませんが。

気軽に相談できる場であることや、“生活のしづらさ”を感じている利用者の方々の支援を行う際は、“利用者の方と一緒に考えていく”事を常に意識していくことを継続していきたいと感じました。



社会福祉法人 アルカディア

ニュースレター第17号 平成29年3月発行

ニュースレター委員会 H28年度を振り返って

- ・ニュースレターを通じて、グループホームという“生活の場”を知っていただけたらありがたいです。(グループホーム事業所：加藤)
- ・ニュースレターを担当させてもらい、考えや思いを言葉で伝える国語力を学びました。(はばたき：内海)
- ・地域社会で暮らす人々には様々な生活様式があることを知り、支援の中で多くの事を学び感じました。(アルカディア相談支援事業所：小林)
- ・シンポジウムを含めて“地域における福祉”を考え意識する1年になりました。(ふらっと：小林)

お知らせ

こんにちは 私たちは、NPO法人糧の耕人舎です。

4月から社会福祉法人アルカディアと合併することとなりました。どうぞ宜しくお願い致します。

作業活動を紹介させていただきます

農作業 太田市米沢町の土地を借り、『おいしいかつ安全』を目指した野菜を作っています。大事に育てた野菜は、グループホーム、ご家庭や店外販売、バザーで販売しています。

自販機 市内各所に設置してある自動販売機に、飲料水を搬入する作業です。数人でチームを組み、なるべくミスがないように心がけて、丁寧に作業を行います。空き缶、空きペットボトル等も回収しています。

その他、公園除草作業、民家除草作業も行っています。5月から新規事業を予定しています。詳細は次回以降に記載と致します。

Bメンバーさんの一言

耕人舎は自由な気風の作業所です。心温かい職員さん達に囲まれて、移り変わる気候の中でも皆たくましく働いています。年数回のレク(行事)もみんな和気あいあいと楽しんでます。それと、以前のようにもっと女子メンバーが加わって欲しいです。



耕人舎(地域活動支援センターⅢ型)

住所：太田市鶴生田町733-123

TEL/FAX：0276(58)2154



社会福祉法人 アルカディア ニュースレター委員会 本部(ふらっと)

群馬県太田市鶴生田町733-123

TEL:0276(20)2509

FAX:0276(20)2510

アルカディア グループホーム事業所

バタバタしているうちにH28年度が終わろうとしています。

今年度を振り返ってみるとやり残したこともたくさんありますが
少しづつ前進しているのではないかと考えています。

グループホームは生活の場です。生活の場は快適でなければなりません。建物をきれいにすることはできませんが“楽しい”と思えるような雰囲気は作っていかれると思います。その雰囲気づくりのお手伝いとしてグループホーム事業所職員は来年度も踏ん張っていきたくと思っていますのでよろしくお願いいたします。

「またどこかに出かけたい！できれば無料で！」という声も上がっていますので来年度も外出レクリエーションを企画したいと思います。



アルカディアグループホーム事業所
群馬県太田市大島町386-3
TEL/FAX 0276-25-3500

焼きたては最高
恵でしたね



一昨年行った“突発
お花見レク”を考え
ています！

来年度こそ行くぞ

ガリガリ君
工場見学！！



太田市障がい者相談支援センター(太田市役所内)

《アルカディア相談支援事業所》

太田市内に在住で障がいをお持ちの方やご家族を対象に、皆様が地域で安心して生活できるように相談・支援を行っています。

《平成28年度の相談ケースを振り返って》

日々の業務の中で様々な相談内容がありましたが、その中でも印象に残っている相談ケースが発達障がいについてです。

(相談事例)

仕事や学業でうまくいかないことが続き、本人の中でうつ状態になってしまう。仕事をしている方は、職場に行くことが辛かったり休みがちになる。学業では皆の輪に入れなくなることがあり、勉強にも遅れをとることが出てくる。そこで1つの分岐点があり、精神科やクリニックを受診する方と医療に掛からずに生活を送る方に分かれる。どちらの状況でも、体調を整えながら地域生活を送るがなんだかしっくりこない感じが続く。そのような状況で相談支援センターに相談。聞き取り等を行っていく中で、もしかしたらうつ病ではないかもしれないとの疑問が本人から出てくる。その後別の医療機関へ繋げ、そこで発達障がいの診断を受けた時に、今までの生活のしづらさの原因が分かり、本人の中で“納得”し、本人にとって本当に必要な支援を選ぶことが出来たというケースが数件あった。

この事例の様な相談対応をしながら感じたことは、“1つの考えにとらわれることなく多角的に考えること”と“生活のしづらさはどこにあるのかを、生活状況を含めて本人としっかり話し合うこと”です。今後の業務も、物事を柔軟にとらえ、専門性を高め活かしていきたいと思っています。

《相談時間》 月曜日～金曜日 8:30～17:30 (土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始はお休みです)

TEL 0276 (57) 8210 FAX 0276 (57) 8215

群馬県精神障害者援護寮

はばたき



利用者さんにインタビュー！

Q1.将来の夢は何ですか？

- ・作業所で働くことです。1人暮らしもしたいです。家族とも住みたいです。まずは自分が無理をしない様にやっていきたい。(Aさん)
- ・仕事をする事(皿洗いや調理関係)。家で家事の仕事をする事。(Bさん)
- ・安定した生活(アパートで生活リズムを整えて、作業所へ通うまく対人関係を築いていくこと)(Cさん)

Q2.Q1のためにはばたきでやっている訓練はありますか？

- ・環境整備というみんなでキッチン周りの掃除と道路清掃とかSST。(休まないようにやれることはやれるようにしたいです。ペースを守れるようになりたい。)(Aさん)

- ・木工作业・自炊訓練や掃除 (Bさん)
- ・自炊・金銭管理・木工・道路清掃など (Cさん)

木工は集中力・脳や手を使うから、SSTは対人関係、環境整備は責任感などに繋がるという意見もあがりました！

Q3.Q1のために今後はばたきでやっていきたいことはありますか？

- ・読書したり、散歩したり、(今後のことを考えて)一人でも空いている時間を過ごせる様になりたい。自炊(レバニラ・もつ煮・角煮など)ができる様になりたいので料理を頑張っていきたい。(Aさん)
- ・木工作业を続けてやっていくこと。自炊訓練をして、言われなくとも(調理中に次に何をするか)進んでできる様になること。(Bさん)
- ・(退所後について)1人で考えるのが大変だったから、同じような経験をしているメンバーと話すプログラムがあると良い。(要望として)スタッフ同士でもっと連携をして欲しい。(Cさん)

アンケートを通して、利用者が普段どの様に感じて訓練に取り組んでいるのか、また、はばたきでどの様なことを求めているのかなどの考え・スタッフへの要望を聞ける機会とすることが出来ました。また、利用者がどんな要望を持っているのか、言葉の背景も含めて、本人としっかり向き合い、話をしていく事が重要であると改めて感じました。挙げた意見・要望に対しては、今後の課題として利用者の支援に生かしていける様努めていきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

今年度は、利用者本位とは何か・はばたきでできる事は何かを意識しながら利用者へインタビューしていきました。スタッフ間でも研修を通して利用者本位について検討した結果、【利用者を受け入れる姿勢】【関わりを通じた本人との関係性の構築】【本人の要望を引き出した上で一緒に考え、環境の調整を行っていく】となりました。

来年度は、上記で挙げた利用者本位の支援の実践(本人のニーズに沿った個別支援計画の作成・プログラムの充実・環境調整など)を目指して利用者に関わっていきたいと考えています。

空き情報

入居：皆様のおかげで多くのご連絡を頂いております。体験については待機者多数のため、お時間を頂く事になってしまいますが、ご相談・お問い合わせは随時お受けしております。

通所：空きが4名分あります。

問合せ先

群馬県精神障害者援護寮「はばたき」
指定管理者 社会福祉法人アルカディア
TEL 0270-63-1860 見学受付担当 廣澤